

# 所信を語る



町づくりを語る西予市長

# 西予市長

## 市長の基本スタンス

- 夢のある町を作ること
- 隅々まで行き渡る行政を行うこと
- 行政の情報を住民と共に共有すること

この基本スタンスを持ちながら西予市の行政諸課題に取り組んで参りたいと存じます。今後予想される地方分権の推進の中で、国、県の権限委譲や職員の質的向上を生かし、住民に対する要望に応えてゆかなければなりません。私たちは新しい市を創造する気概が大切であります。都市的要素をふんだんに盛り込んだ、市として認知される市の創造を目指し、市としての一体感を早く作る必要があります。市民が一つになる努力を誘発しながら一体感を醸成することに努めて参ります。それぞれの地域の特性を把握し、行政課題に取り組んでいく必要があります。私はグローバルに考えてローカルに実践する方針であります。

## 西予市の実践的課題とは

- ★市の基幹産業である農林水産業の基盤づくり
- ★女性の声を市政に反映するシステムの構築

- ★スポーツ立市を目指しスポーツを通じ交流人口の増加を推進
- ★高齢者福祉の推進
- ★市内の教育の平準化と生き生きとした逞しい子供の育成



西予市の町づくりに取り組む職員

## 平成16年度 予算編成

新市施行後最初の予算であるという、事の重大性を重く受け止め、大極的な視野に立って、市民4万7千人の将来を見据えた、新しいまちづくりの基礎予算と致しました。国の方針がこれまでの改革断行予算という、基本路線を継続させたことにより、地方財政計画も徹底した歳出の見直しが行われ、地方交付税は4年連続の大幅な減少となっており、これに加え三位一体改革による影響で、当市は12億4千万円余りが減額となり、これは予想をはるかに超えた、かつてない厳しい財政状況の中での予算編成でしたが、西予市の未来あるまちを築き、市民の負担に心えることが私の責務であり、削るものは削り、やるべき事はやるという強い信念を持って予算編成に力を注いで参りました。どうか議員の皆さんを始め、市民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。主要施策として以下の4点を重点的に取り組んで参ります。

を一体化し、特徴ある運営を展開して参ります。

### 【三瓶町】

「全国の海、山、町とのネットワークのまちづくり」。中心部、沿岸部を海との交流拠点として、三瓶ネットワーク海の駅の整備を図り、情報、物流、環境、観光の拠点として整備し活性化を目指

します。

### ●第2点目の目標

地域のイメージアップと活性化を図ります。西予市は県内では2番目の面積規模を有し、四国カールストから宇和海まで、多様な地域資源を持つ地域の利点を生かし、地域の連携と活力を高める施策に挑みます。旧町で築き守り育てて来た貴重な文化、イベント、産業等これらの融合や拡大を目指して、地域のイメージと付加価値を高めます

### ●第3点目の目標

市としての機能を十分に発揮し行政サービスに努めて参ります。行政区の拡大により、公共施設の有効利用と活動内容、指導内容の充実が図られると共に、城川、明浜地区には第一段階の救急医療体制が整い、より一層安全、安心して暮らせるサービスが提供できる事になりました。従来の行政サービス以上の高いサービスが提供できるよう職員共々努めて参ります。

### ●第4点目の目標

抜本的な行財政改革に取り組み、硬直化した財政の建て直しを図ります。今日の財政状況は、国、地方において未曾有の財政危機状況にあり、特に地方自治体は三位一体の改革による影響や、少子高齢化の進行により、今

後ますます厳しさは増大し財政硬直化が一段と進むものと判断しております。今回の合併では、従来実施していた行政サービスを高い水準に合わせること、総合支所方式を導入したこと等により、合併のメリットといわれている、行政のスリム化が図れず、人件費の削減には至っていない現状であります。加えて平成16年度末地方債残高は、一般会計で約3百23億円に達する見込みであり、今後増発する見込みの合併特別債を合わせると、大変憂慮すべき財政状況になっております。今後の取り組みとしては、人件費の抑制、事務的経費の削減、補助金のあり方について、精査、合併特別債の慎重な運用等、行財政改革を早急に断行し、後世に禍根を残す事態だけは、絶対に回避しなければなりません。議員各位市民の皆さまもこの窮状をご理解頂き、ご協力を賜りたいと思っております。

5町の平準化に向け、4つのテーマを掲げて特徴ある町作りを目指します。

### ●第1点目の目標

【城川町】  
「潤いと安らぎのある暮らし創造のまちづくり」我が村は美しくを理念に奥伊予としてのイメージを定着させ、城川町そのものが安らぎの里として認知され、健康保養地中核施設整備に本格的に着手し、都市との交流を促進し、西予市の新しい健康づくりの拠点を整備します。

### 【野村町】

「地域文化あふれる生活と雰囲気のみちづくり」。乙亥大相撲という伝統文化を生かした町づくりであり、乙亥文化による交流を核として、中心市街地への新しい概念の複合施設へ、乙亥の里を完成させ、個性的な商業形成を図ります。

### 【明浜町】

「海を生かした魅力ある交流のみちづくり」をテーマとした、シーサイド・サンパークの整備により、交流人口も増加傾向にあり、地域活性化に弾みをつけており、今後とも既存の施設と、新たな施設



ライトアップされた宇和町並み